

事業所名		リバシティ		支援プログラム		作成日	R7	年	3 月	14 日
法人（事業所）理念		お子さまとご家族が安心して暮らせる“明日”をつくる								
支援方針		○理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの多職種がチームを組んで支援を行います。お子さまの育ちや発達特性を、それぞれの専門的視点から多面的・多層的に把握し、ご家族と課題や目標を共有していきます。 ○45分間の個別支援をベースに支援します。お子さまとスタッフの一对一の時間の中で、楽しみながら発達を促していけるようかかわっていきます。個別支援をご利用の方のみ、2～4人の小集団支援もご利用いただけます。個別支援にて、お子さまの月齢、発達段階、発達特性等を丁寧にアセスメントした上でグループのマッチングを行います。 ○お子さま・ご家族さまから共有いただいたお困りや悩みと、スタッフによるアセスメント(分析)をもとに個別支援計画を作成し、支援を提供します。月に一度、セッションの詳細やご様子をお話しながら、ご家庭や園などの集団生活でのご様子についても伺い、お子さまとご家族の日常を支えることも大切にしています。								
営業時間		9 時	30 分	から	17 時	45 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	○発達の基盤となる生活リズム、生活環境等の現況を把握し、発達を支えるために必要な助言やアプローチを行います。 ○日常生活動作を獲得していくために必要なさまざまな機能の育ちがあるかを分析・把握し、適切なアプローチや助言を行います。								
	運動・感覚	○お子さまの運動発達段階を分析・把握し、次の段階に向けて適切なアプローチを行います。 ○運動、遊び、日常生活動作などの困難さに対し、どこから難しさが生じているか(筋、関節、姿勢保持能力、感覚、ボディーイメージ等)を分析し、発達を促すアプローチを行います。								
	認知・行動	○お子さまの認知の発達段階や特徴を知り、どのようなアプローチがお子さまの発達やかかわりに適切であるかを把握します。 ○活動や参加の困難さにつながる行動について、その行動に至る背景を分析し、アプローチを行います。 ○上記をご家族やお子さまとかかわる人にも共有することで、お子さまの理解やかかわりやすさ、社会参加のしやすさにつなげます。								
	言語 コミュニケーション	○お子さまの言語・コミュニケーション能力や発声・発語器官の発達段階、発達特性を分析・把握し、次の段階に向けて適切なアプローチを行います。 ○お子さまとのコミュニケーション手段として適切なものを模索し、ご家族やお子さまとかかわる人にも共有することで、かかわりやすさや社会参加のしやすさにつなげます。 ○読み書きの獲得に必要なさまざまな機能の育ちを把握し、適切なアプローチを行います。								
	人間関係 社会性	○お子さまの情緒や人間関係の発達段階、発達特性を分析・把握し、次の段階に向けて適切なアプローチを行います。 ○他者とのかかわりに注意が向く環境設定を行うことにより、円滑な人間関係の構築につなげます。								
家族支援		○支援での様子のフィードバックと、日常生活でのご様子を伺った上で相談援助を行うことを目的に、月に1回以上、家族支援加算Ⅰを算定し支援を行います。 ○ご家族のかかわる他機関(幼稚園・保育園、他事業所、計画相談、療育センター、病院、区役所等)と連携を図り、地域で支える支援を目指しています。				移行支援		○就学前のお子さまを対象に、関係機関連携Ⅳを算定し、小学校への情報提供書を作成します。小学校に送付の上、入学後、担任等の先生方に向け、詳細についてお伝えするお電話をし、申し送りを行います。 ○小集団支援では、発達段階や発達特性の状況により、大きな集団の中では参加が難しいお子さまに対し、他児とのかかわりや社会的ルールを知る経験を積み重ねていけるよう支援します。		
地域支援・地域連携		○ご家族のかかわる他機関(幼稚園・保育園、他事業所、計画相談、療育センター、病院、区役所等)と連携を図り、地域で支える支援を目指しています。 ○事業所の所在地である西区の自立支援協議会に参画しています。「療育・教育・福祉連携会議」、「児童部会」に定期的に出席し、地域での連携や地域課題の解決に向けた活動を行っています。				職員の質の向上		○定期的に支援内容の振り返りを行うことで各自支援に対する内省とアップデートを図る機会とし、支援の質の向上につなげています。 ○それぞれの受講した研修内容の共有を積極的に行なっています。		
主な行事等		現在行っておりません。								